

施設長期使用におけるリスク度合

ごみ焼却施設に限らず、機械類はそもそも、寿命があるもので、それを超えて使い続けると、急激に故障する回数（頻度）が増えてくる（バスタブ曲線）

頻繁に故障が増えても、特段大きなリスクや人命に関わらないものであれば良いが、クリーンセンターはその性質上故障や事故になった場合に、市民生活への影響や、近隣住民への大きなリスクにならないとも限らない。

よって、クリーンセンターは、耐用年数以内を一つの目安とし、更新や修繕をきちんと行うことが重要である。決して、長寿命とリスクを取引するものではない。

バスタブ曲線

- 初期故障期 : 製造不良、設計不良などのため、使用開始とともに劣化、故障してしまう時期
- 偶発故障期 : 不良品が初期故障で十分除外されてしまった後、ごく稀にしか故障が発生しない安定した時期
- 摩耗故障期 : 部品などに摩耗や劣化が蓄積してきて故障が増加してくる時期（この時期が早く来るか遅く来るかはそれまでの使用状況によって変化します）

< 経年劣化と故障率について >

